

特集：外国人が安心して暮らせるためのサポートをしています

「外国人総合相談センター埼玉」以外にも、外国人住民が地域で不自由なく暮らせるよう、様々な事業を行っています。

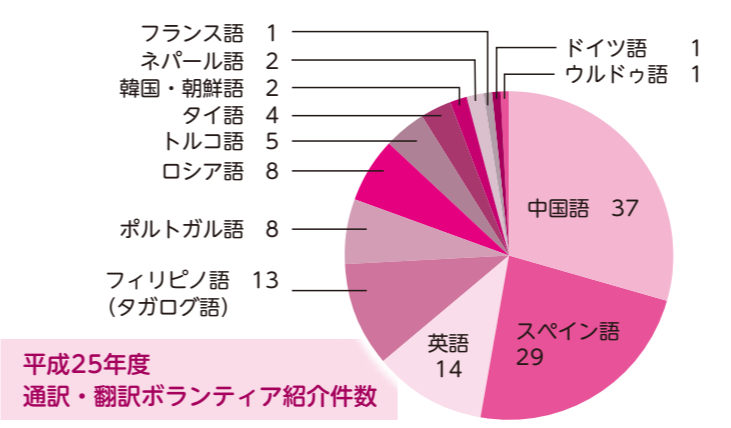
SIA埼玉

通訳・翻訳ボランティアの紹介

公的機関からの依頼に応じて通訳・翻訳ボランティアを紹介し、学校での面談や病院での診察など、外国人住民が不安にならないようお手伝いをしています。

現在618名*の方がボランティア登録をされており、平成25年度は125件の依頼に対し、紹介しました。紹介件数としては、中国語、スペイン語が多いですが、今後依頼の増加が見込まれるベトナム語、ネパール語、ヒンディー語のボランティアの方を特に増やしたいと考えています。

*2014年10月末現在



ボランティアの声

スペイン語ボランティアとして、病院、弁護士会法律相談、高校進学ガイダンスなどで通訳を行っています。

大まかな内容は前もって連絡がありますが、詳しい話は当日その場で初めて聞く場合がほとんどです。限られた時間内でやりとりを正確に伝えることが一番大切ですが、同時に、聞き慣れない言葉や制度は確認しながら分かりやすく説明するなど、相談される方が少しでも安心できるような工夫も心掛けています。

(スペイン語通訳・翻訳ボランティア 米積 則子さん)

通訳・翻訳ボランティアの育成にも力を入れています！

通訳ボランティアは医療や福祉、法律相談などの現場に行く機会があるため、語学能力に加え、専門的な知識も知ることがより適切な通訳につながります。

そこで協会では、通訳ボランティアの基本的な知識を学ぶ「入門講座」と、実際の通訳場面を想定し、ロールプレイを取り入れた「レベルアップ講座」を毎年各1回開催しています。



今年の入門講座の様子
大勢の方が参加され、ボランティアへの関心の高さがうかがえました。

◆ボランティアの紹介を希望する公的機関のご担当者は、協会までお問い合わせください。ボランティアの交通費等は依頼した機関に負担していただいています。

外国人のための高校進学ガイダンスの実施

親の仕事や結婚などの理由で来日した外国人の子どもたちが、日本で安定した生活をしていくためには、高校に進学することがとても重要です。

そこで、外国出身の子どもと保護者に日本の高校受検について知ってもらうため、年に一度、高校進学ガイダンスを開催しています。通訳とボランティアスタッフの協力を得て、高校進学についての説明や、日本で高校に進学した外国出身の高校生の体験披露、また、高校別の個別相談などを行っています。



通訳と一緒に受検の説明を聞く参加者



高校に進学した外国出身者の体験披露



教育関係者のブースで熱心に相談する参加者

子どもたちの相談内容 (一部)

- ・日本語が読めなくてテストでよい点数が取れません。
- ・母国で中学校を卒業したけど、日本の高校に受検できますか？
- ・高校で勉強についていけるか心配です。
- ・高校にはどんな部活がありますか？
- ・友だちはできますか？